

◆新型コロナウイルス感染症関連チェックシート・誓約書◆（8月3日現在）

クラブハウスに入場される方は全員提出願います。

競技当日フロントに提出してください ※必須（提出されない場合は参加不可）

氏名		所属	
----	--	----	--

海外渡航歴の確認

直近14日以内に、海外への渡航歴はありますか？ ☐ はい ☐ いいえ

渡航歴がある場合↓

8/24は厚労省が指定する待機期間となりますか？ ☐ はい ☐ いいえ

体調チェック(最近10日以内に、該当する症状がある場合に☑を入れて下さい。該当しない場合は記入不要。
※慢性的な症状(基礎疾患)の場合は下欄のその他持病欄に記入願います。

症状 (10日以内)	☐ 発熱(°C)	☐ 悪寒	☐ から咳	☐ 鼻づまり	☐ 頭痛
	☐ 全身倦怠感	☐ 咽頭痛	☐ 筋肉痛	☐ 食欲不振	☐ 下痢
	☐ 味覚障害	☐ 嗅覚障害	☐ 呼吸困難	☐ 胸痛	☐ 膿性炎
	☐ その他				

発症日時等 発症日時(月 日 時頃) 医療機関受診(月 日)

医療機関	☐ 受診した	医師の所見:
	☐ 受診していない	現在の症状:

基礎疾患(万一、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化を防ぐ為に医療機関に報告する内容になります)。

☐ 心臓 (病名:)	☐ 腎臓 (病名:)
☐ 糖尿病	☐ その他持病 ()

直近7日間の起床時の体温計測および、大まかな行動範囲、外出先等の記録をお願いします。【平熱 °C】

日付・曜日	体調	検温結果	主な滞在地・行動の記録など
8/18(木)		°C	
8/19(金)		°C	
8/20(土)		°C	
8/21(日)		°C	
8/22(月)		°C	
8/23(火)		°C	
8/24(水)		°C	

- 【重要】
- ・競技開催日を含めて7日以内に37.5°C以上の発熱があった場合、または平熱より高い状態が3日以上続いた場合で、体調チェック欄の該当項目の内容によっては出場を認めません(基礎疾患欄は除く)。
 - ・尚、海外渡航歴後、厚労省が指定する待機期間(自宅待機含)に該当する場合は、出場を認めません。
 - ・感染防止の為に主催者が決めたその他の措置の順守等、主催者の指示に従ってください。

《参加誓約書及び個人情報保護法等の活用について》

1. 上記記述内容が事実であることを確認します。記載内容に問題発生時には本人に責任があることを確認します。
2. 本人及び近親者、又は濃厚接触者に新型コロナウイルス感染症の疑いのある者、もしくは感染してる者はいません。
3. 感染防止の為に主催者が決めたその他の措置の順守、指示に従います。
4. 私個人の責任において健康管理に十分な注意を払い競技に参加し、万一体調などの異常が生じた場合は速やかに競技参加を中止します。
5. 本書の記載事項については、開催日より2カ月を限度として、新型コロナウイルス感染症疑い患者の把握のために主催者が必要に応じて、医療機関・行政機関に提出する場合がある事を同意します。

「個人情報保護法」等の関連法律により、上記内容について十分認知して、個人情報収集及び活用に同意します。

☐ 同意する ☐ 同意しない

令和 4 年 月 日

◇ 参加者本人署名

【香川県シニア用 8 月 3 日現在】

※今後の感染状況により変更する場合があります

新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、競技会期間中は主催者が決めた下記の事項を順守し指示に従ってください。

- ① 競技会前は、普段以上に外出時の行動等に留意すること。
- ② 競技会受付時に体調管理チェックシート・誓約書の提出を義務付け、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせることを。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域への渡航があり、厚労省の定める待機期間に該当する場合、又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ マスクを持参すること（クラブハウス内はマスク着用）。
- ④ こまめな手洗いを行なうこと（30 秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑤ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
（アレルギーその他、個々の手の状態により③のみでも可）
- ⑥ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑦ 可能な限りソーシャルディスタンス（約 2 m）を保つこと。
- ⑧ 競技中に大きな声で会話、応援などをしないこと。
- ⑨ 旗竿に触れることを極力避けること。
- ⑩ 毎朝、体温を測定し健康チェックを行なうこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し委員会に申し出ること。
- ⑫ 組合せ時に配布する「チェックシート・誓約書」に必要事項を記入し競技会当日に主催者へ受付で提出すること。

競技会期間中の感染予防策

◦ 委員会の取り組み ▶ 選手の行動

◆ クラブハウス

- クラブハウス内のアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
(ロッカー取手・ロッカーキー回収・自動精算機・フロントカウンター周り)
- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。(37.5℃以上の場合は、出場停止とします)

◆ フロント

- ▶ チェックインは記帳せず、スタート時刻と氏名を告げること。
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

◆ ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

◆ トイレ

- 便座除菌クリーナーを設置します。

◆ レストラン

- アルコール消毒を定期的かつ随時行います (テーブル・椅子・メニューカバー)。
- テーブルは2 m以上の間隔で配置します。
- ▶ 食事の際の会話は控えること。

◆ 乗用カート

- ゴルフカートのアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
(ハンドル・シート・手摺り・ナビ画面)

◆ スタート時刻

- ▶ スタート地点が密とならないよう、スタートする組だけが10分前に集合すること。

◆ スターター

- テントを使用する場合は、2方向を開放します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で配布します。
- ▶ カードを含めた配布物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆ 競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。
- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆ 成績表示

- 密の状況を避けるため、掲示しません。HPにて成績確認願います。

競技会開催における基本方針

◆開催可否の判断

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 競技会開催地自治体の状況
- ③ 選手の動向及び他のスポーツの動向
- ④ J G A 及びプロトーナメントの状況

◆競技会実施の制限

- ① 無観客開催【競技・放送・取材】
- ② 非公開開催【競技・放送】
- ③ 競技会中止

◆スタッフの対応

- マスクまたはフェースシールドを着用します。
- 頻繁な手洗いうがい、アルコールによる手指消毒を行います。
- 出社時に体温測定し、37.5℃以上の場合は自宅待機とします。
- 万一に備え、近隣の救急対応病院と所轄保健所と連携体制を取ります。

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。
- 避難場所のスペース（単純な広さとして）を確保します。

◆ギャラリーの制限

- クラブハウスは立入禁止とします。（トイレのみ可）

◆取材規制

- 非接触型の検温器による検温を実施します。（37.5℃以上の場合は、取材不可）
- 事前登録をしていない方は身分証明書の掲示を求めます。

◆選手・ギャラリー及び関係者から疑い例が出た場合

- 一時的に該当者を隔離する。
- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手・ギャラリー及び関係者から P C R 検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の移動手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 競技会を中止にするべきかどうかを検討する。